

年 月 日

品川区保健所長 殿

管理者住所
氏名

診療用エックス線装置備付届

下記のとおり診療用エックス線装置を備え付けたので、医療法第15条第3項および医療法施行規則第24条の2の規定により届け出ます。

記

診療所	名 称		
	所 在 地	電話番号 () ファクシミリ番号 ()	
診療用エックス線装置に関する事項	製 作 者 名		
	型 式		
	連 続	キロボルト (kV) ミリアンペア (mA)	
	定格出力 短時間	キロボルト (kV) ミリアンペア (mA) 秒	
	蓄放式	キロボルト (kV) マイクロファラッド (μF)	
	エックス線管の数	管球	
用 途	一般撮影 ・ 透視 ・ CT ・ 歯科用 その他 ()		
線技師の氏名および経歴 線技師または診療エックス 医師、歯科医師、診療放射 エックス線診療に従事する 医師	氏 名	職 種	エックス線診療に関する経歴
備 付	年 月 日	年 月 日	

診療用 エクス線装置の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	医療法施行規則第30条第1項第1号に規定するエクス線管および照射筒の遮蔽		有・無
	総ろ過		ミリメートル アルミニウム当量 モリブデン当量
	透	患者への入射線量率 50ミリグレイ/分	以下・超える
		一定時間経過時に警告音等を発することのできる透視時間を積算するタイマー	有・無
	視	高線量率透視制御	有・無
		焦点皮膚間距離が30センチメートル以上になるような装置またはインターロック	有・無
		受像面を超えないように照射野を絞る装置	有・無
	装 置	受像器を通過したエクス線が150マイクログレイ/時（接触可能表面から10センチメートル）	以下・越える
		最大受像面を3センチメートル超える部分を通過したエクス線が150マイクログレイ/時（接触可能表面から10センチメートル）	以下・越える
		利用線錐以外のエクス線を有効に遮蔽するための適切な手段	有・無
	撮影装置	照射野絞り装置	有・無
		医療法施行規則第30条第3項第2号に規定する焦点皮膚間距離	以上・未満
	胸部集検用間接撮影装置	利用線錐が角錐型かつ受像面を超えない照射野絞り装置	有・無
		接触可能表面から10センチメートルにおいて1マイクログレイ/1ばく射以下となる受像器の一次遮蔽体	有・無
		10センチメートルにおいて1マイクログレイ/1ばく射以下となる被照射体周囲の箱状の遮蔽物	有・無
	移動型・携帯装置等	エクス線管焦点および患者から2メートル以上離れて操作できる構造	有・無
		装置の保管場所	
	治療用装置	ろ過板が引き抜かれた場合、エクス線の発生を遮断するインターロック	有・無
	口内法撮影装置	照射筒先端における照射野の直径	センチメートル

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> エックス線診療室の放射線障害の 防止に関する構造設備の概要 </p>	使用の場所			
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> 遮蔽物を設ける場所 </div> <div style="width: 70%;"> 遮蔽物 </div> </div>	構造、材料、厚さ		
	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 診療室の防護物の概要 </p>	天井		
		床		
		<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> 周囲の画壁等 </p>	(東)	
			(西)	
			(南)	
	(北)			
	監視用窓			
	出入口の扉			
	その他の開口部			
	操作室	有・無()		
診療室の標識	有・無			

エックス線診療室の放射線障害の防止に関する予防措置の概要	放射線障害の防止に必要な注意事項の掲示		有・無
	使用中の表示		有・無
	面壁等外側の実効線量が1ミリシーベルト/週以下となる措置		有・無
	管理区域	管理区域を設ける場所	別添図面のとおり
		境界における実効線量が1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有・無
		立入制限措置	有・無
		標識	有・無
	敷地の境界等	敷地内居住区域および境界における実効線量が250マイクロシーベルト/3月以下となる措置	有・無
		入院患者（診療により被ばくする放射線を除く。）の実効線量が1.3ミリシーベルト/3月以下となる措置	有・無
	その他	取扱者の被ばく測定器具	
防護用具（防護前掛等）		有・無	

注意事項

- 隣接室名、上階および下階の室名ならびに周囲の状況を明記したエックス線診療室の平面図および側面図を添付すること。
- 診療室図は、照射方向、エックス線管から天井、床および周囲の面壁の外側までの距離（メートル）ならびに防護物の材料および厚さを記入した50分の1の縮図とすること。ただし、歯科用診療室は、50分の1または25分の1の見やすい縮図とすること。
- 管理区域の標識、使用中ランプ等の位置を診療室図中に記入すること。
- エックス線診療に関する経歴欄には、医師、歯科医師、診療放射線技師または診療エックス線技師の免許登録番号および年月日を記入すること。
- 漏えい放射線測定結果報告書（写し）を添付すること。